

ここに注目!

県政トピックス

静岡県知事選挙

任期満了に伴う静岡県知事選挙が6月3日(木)告示、20日(日)投票の日程で行われます。しかし3月22日時点で立候補を表明した人はいません。

2月定例会の代表質問で、ふじのくに県民クラブ山崎真之輔議員が「川勝県政3期目の総括」を質問しましたが、知事は自らの進退については触れませんでした。山崎議員は「リミットは来ている。しかるべき時に発信するよう要望する」と伝えました。引き続き、知事選に向けた去就が注目されます。

産業活性化で「創ろう!元気な静岡県」

産業委員会では、2050カーボンニュートラル※やクルマの電動化を踏まえた「次世代自動車の電動化・デジタル化等対応研究会」の設置や産学連携の推進、進捗遅れの目立つ「次期エネルギー総合戦略」の策定、クラウドファンディングの活用、浜名湖の水産資源への対応等についてスピード感をもって対応するよう求めました。

※CO2など温室効果ガス排出量から、森林などの吸収量を差し引いてゼロにすること

3E監査の強化

議選監査委員として川勝知事、出野副知事、難波副知事と意見交換を行いました。令和2年度の監査は、従来以上に3E(経済性・効率性・有効性)を評価したことなどを報告しました。内部統制制度も導入され、監査には適正さのチェックのみならず業務改善につながるチェックが求められます。

留学生と意見交換

県内大学で学ぶ外国人留学生と意見交換を行いました。スリランカ、ベトナム、台湾、中国から静岡に来た5人のみなさんは、流暢な日本語で研究内容や将来の夢を話してくれました。県内では毎年200人を超える留学生が大学を卒業しますが、県内企業に就職するのは50人前後にとどまっています。母国と結ぶパイプ役としての県内企業での活躍に期待し応援していきます。

静岡県政の通信簿

ふじのくに県民クラブは川勝県政3年半の業績評価をとりまとめ「静岡県政の通信簿」として公表し、10点満点の7.33点、「及第点」と評価しました。詳細はリンク先のPDF資料をご覧ください。



詳細はこちら▶



遠州灘海浜公園(篠原地区)野球場

基本計画の策定がコロナの影響で遅れていますが、アフターコロナを見据えた公園づくりに向けた調査を進めるとともに、官民連携による整備・運営に関するアイデアを民間事業者からうかがう「サウンディング調査(直接対話による市場調査)」を行う予定となっています。地域のみなさまのご期待に応えられる野球場整備につながるよう引き続き取り組みます。



創ろう!元気な浜松&静岡県

田口章は持ち前のフットワークで、元気いっぱい活動しています。日常の活動は、ホームページやブログでも報告しています。インターネットがご利用できる方はぜひご覧ください。



田口章で検索



ふじのくに県民クラブ 静岡県議会レポート

令和3年 4月号



県庁内 控室 静岡市葵区追手町9-6 TEL.054-221-3510
浜松市西区入野町9860-1 TEL.053-440-7100
taguchi@suzuki-union.or.jp

浜松市西区 田口章

みんなで考えよう!!

ウィズコロナ・アフターコロナ時代の静岡県

静岡県議会2月定例会報告(2/18~3/17)

静岡県議会2月定例会では令和3年度当初予算など知事提出78議案を可決成立いたしました。以下に概要を報告します。(金額は四捨五入して億円単位で表記しています)



コロナ対策事業の推進

令和3年度のコロナ対策事業は3つの柱で進めます。最初の柱は「感染防止対策とリスクへの備え」。静岡県は感染拡大地域に挟まれながらも県民のみなさんのご協力により感染拡大をある程度抑制できています。引き続き医療体制の確保を進めるとともに、雇用確保や中小企業の事業継続支援、市町と一体で行う地域経済対策など必要な施策に取り組みます。

2本目の柱は「フジノミクスによる経済の拡大」。山梨県や長野県、新潟県の感染状況が比較的落ち着いている中部4県で連携して新たな経済交流圏を作ります。また

中小企業のデジタル化や医療健康産業への業態転換などを支援していきます。

3本目の柱は「ふじのくにライフスタイルの創出」。コロナ禍での働き方の変化などにより東京都の人口は昨年7月以降転出超過が続いています。静岡県は従来から移住希望者が多いこともあり、移住定住施策の強化とテレワークやワーケーションなどで首都圏からの人の流れを作っていきます。

これらのコロナ対策事業は令和3年度当初予算で538億円、2月補正予算計上分を合わせると737億円となります。令和2年度はこれまでに1250億円を投じてきましたが引き続きコロナ対策に万全を尽くします。

「人づくり・富づくり」の総仕上げ

平成30年度からスタートした「基本計画」が令和3年度に最終年度を迎えるため、これに掲げた8つの政策をしっかりと仕上げしていきます。

課題もあります。1年前、オリンピック・パラリンピックを控えた段階では、スポーツと観光が経済活性化の起爆剤の位置づけでした。ウィズコロナ・アフターコロナの中でどう地域の活性化を進めていくか、練り直しが必要です。

もうひとつの大きな課題はリニア中央新幹線です。国土交通省の専門家会議を踏まえ、JR東海との協議をどう進めていくか、川勝知事の手腕が問われます。

— 基本計画の政策体系 —

- | | |
|--|--|
| <p>〈安全・安心な地域づくり〉</p> <p>① 命を守る安全な地域づくり</p> <p>② 安心して暮らせる医療・福祉の充実</p> <p>〈未来を担う有徳の人づくり〉</p> <p>③ 子どもが健やかに学び育つ社会の形成</p> <p>④ 誰もが活躍できる社会の実現</p> | <p>〈豊かな暮らしの実現〉</p> <p>⑤ 富をつくる産業の展開</p> <p>⑥ 多彩なライフスタイルの提案</p> <p>〈魅力の発信と交流の拡大〉</p> <p>⑦ “ふじのくに”の魅力の向上と発信</p> <p>⑧ 世界の人々との交流の拡大</p> |
|--|--|

ラジオでお届け! 県政情報

ふじのくに県民クラブは、FMHarO! 76.1で、毎週土曜日午後5時から「イブニングサテライト」、金曜日午前7時から「モーニングサテライト」を放送中です。私は第4土曜日夕刻を担当しています。県政のホットな話題を生放送でわかりやすくお伝えしますのでぜひお聴きください。

第4土曜日 17:00より!

